

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		目的によって部屋を分けている	目的、用途によって部屋を分けられていて、利用者が集中できる環境を整えている
	2	職員の配置数は適切である	6			欠勤があっても、十分に支援できる体制が整えられている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		2 スペースの分離を、絵文字で表示し、わかりやすくしている	一部段差があるが、ポスターや注意書きを貼る等の工夫をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎日清掃、消毒作業を行っている	目的、用途によって部屋を分けられていて、利用者が集中できる環境を整えている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			全員ではないので、今後も理解を深めていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		3カ月ごとに、アンケートを取りそれを参考にし、業務改善に繋げている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		HPに公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	内部で行っている	今後、外部評価を行い改善につなげる
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		毎月、心理士による研修を行っている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		アンケート、SNS、面談等で保護者から聞き取りをしている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		独自のものを使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		スポーツに特化した支援を行っている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		2人以上のチームで行っている	チーム間だけでなく、それぞれ情報共有している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	アンケート、SNS等を使い保護者から聞き取りをして、利用者の状況を見て考えている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	5		個別、集団を適宜組み合わせ合わせている	目的、用途によって部屋を分けられていて、利用者が集中できる環境を整えている	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		SNSや連絡ボードにて共有している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	2か月に1回モニタリング、会議を行っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の状況等を記録している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		2か月に1回モニタリング、会議を行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		子供をよく知る者、チームが行っている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	相談支援と連携している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	4	緊急連絡カードを作成し、体制を整えている	医療的ケアが必要な子供を預かったことがない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4	緊急連絡カードを作成し、体制を整えている	医療的ケアが必要な子供を預かったことがない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	SNS等を使用し保護者を介し行っている	保育所等に直接は出来ていない。保護者を通じての情報共有、連絡調整はしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	SNS等を使用し保護者を介し行っている	保育所等に直接は出来ていない。保護者を通じての情報共有、連絡調整はしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		研修は受けていないが、連携はしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	行っていない	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	年3回の協議会へ参加している	コロナにて開催なし
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		SNS等を使用しコミュニケーションをとっている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	相談等行っている	ペアレントトレーニングといえる程ではないが、希望があれば面談をしている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		初回利用開始前に行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		徹底している	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		SNS等を使用しコミュニケーションをとっている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	行っていない	保護者会等の開催希望者がいない
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		SNS等でコミュニケーションをとり適宜面談等にて対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	SNS等で日々報告等を行っている	会報とまでは言えないが注意喚起プリントを配布している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		ジェスチャー、わかりやすく言い換える等配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		コロナでなし
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		マニュアルを策定し必ず目を通し署名させているが周知には至っていない
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			マニュアルを策定し必ず目を通し署名させているが周知には至っていない
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		緊急連絡カードを作成し、体制を整えている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーの有無は必ず聞き取りをしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		職員全員で共有している	事故報告ノートがあり、追記している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		毎年、人権、虐待研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		身体拘束をしない方針なのでサービス計画に記載していない	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	13	1			十分にスペースが確保されていて、のびのび動き回れています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	14				不満等ありません	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12				2 報告で見ている限りのびのび活動しているように思っている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	1		1	とても綺麗でわかりやすい。切り替えしやすい環境だと思う。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	14				特性を理解したプログラムを考えられている	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12			2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	13			1	色々な運動をしている。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		2	7	アドバイスをもらえていて安心	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	12	2				
適切な支援の提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	10	1	1	2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	7	2	1	3	SNSで写真やコメントを頂けるので様子がよくわかり助かっています。	これからもSNS等で出来るだけわかりやすく報告等発信していきたいと思います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14				SNSで写真やコメントを頂けるので様子がよくわかり助かっています。	これからもSNS等で出来るだけわかりやすく報告等発信していきたいと思います。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	12		1	1	よく相談にのってもらって助かっています。	適切に助言等出来るようにしていきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4		4	6	特に不要	希望が多ければ、開催しようと思う
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	13			1	1 時間の変更等、すぐに対応していただいている。	SNSを使用しているので、迅速に対応できる。

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	14			毎回SNS等で連絡いただけるので助かっています。	SNS等で個別に連絡しています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	11			SNS等でママに連絡の機会があるので、伝え合っています。	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	11			3	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	5	1		8	月に一度避難訓練をしている
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	4	1		9	通所時、避難訓練にあたっていない。 月に1度、曜日を変えて実施しているので、もう少しお待ちください。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	13			1	笑顔で通えている
	23	事業所の支援に満足している	14				とても満足している

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		目的によって部屋を分けている	目的、用途によって部屋を分けられていて利用者が集中できる環境を整えている
	2	職員の配置数は適切である	6			欠勤があっても、十分に支援できる体制が整えられている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		トイレに段差があるがそれ以外はバリアフリー化できている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			日々、情報支援を行い、改善、振り返りを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			定期的にアンケートを取っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		HPIに公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		今後、外部評価を行い改善につなげる
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			毎月、心理士による研修を行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			アンケート、SNS、面談等で保護者から聞き取りをしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		アンケート、SNS、面談等で保護者から聞き取りをしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		2人以上のチームで作っている	チーム間だけでなく、他でも情報共有している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	アンケート、SNS等を使い保護者から聞き取りして、利用者の状況を見て考えている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		SNS、ユーチューブ等を使い、支援している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		個別、集団を適宜組み合わせている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		SNSや連絡ボードにて共有している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	SNS等で行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の状況等記録している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		2カ月に1回モニタリング、会議を行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5		スポーツに力を入れている。その他、学習面・生活面等組み合わせている	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		している	1番状況を把握している担当者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		SNS等を使用し保護者を介し行っている	学校等直接の情報共有は出来ていない。保護者を通じての情報共有、連絡調整はしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	緊急連絡カードを作成し、体制を整えている	医療的なケアが必要な子どもを預かったことがない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	保護者を通じて行っている	保護者を通じて行っているが、直接情報共有していない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2		移動事例がない。準備はしっかりしておく。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		研修は受けていないが、連携はしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	ない	なし
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	年3回の協議会へ参加している	コロナにて開催なし
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		SNS等を使用しコミュニケーションをとっている	毎日SNSを使用し、報告と理解を深めている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	相談等行っている	ペアレントトレーニングといえる程ではないが、希望があれば、面談をしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		初回利用開始前に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		希望があれば適宜行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	行っていない	保護者会開催の希望者がいない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		迅速かつ適切誠実に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	SNS等で日々報告等を行っている	会報とまでは言えないが、注意喚起等プリントを配布している
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		ジェスチャー、わかりやすく言い換える等配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		こちらから出向くことがある

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	月に1度、訓練を行っている	職員がマニュアルを読了したら、日付と氏名を記入している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	毎月避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	毎年、人権、虐待研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	身体拘束をしない方針なのでサービス計画に記載していない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	アレルギーの有無は必ず聞き取りをしている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	職員全員で共有している	事故報告ノートがあり、追記しているSNSに共有している

公表： 2024 年 2月 26日

事業所名 ひよこすぽ一つ塾 保護者等数(児童数)22 回収数 15 割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14				十分にスペースが確保されていて、のびのび動き回れています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14				不満等ありません	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1		4		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1		1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	2			1 特性を理解したプログラムを考えられている。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		3	7		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14			1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12		1	2	SNS等でアドバイスをもらえていて、安心	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4		5	6		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				SNSで写真やコメントを頂けるので、様子がよくわかり助かっています。	これからもSNS等で出来るだけわかりやすく報告等発信していきたいと思います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11				4 よく相談ののってもらって助かっています。	適切に助言出来るようにしていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	13				2	個人情報には十分気を付けています	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	1	4		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1		4		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15			1	いつも楽しみにしています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	15					SNS等、発信を詳しくできるよう努めます

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。